学校番号	４１６

令和３年度　芸術科[音楽]

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	On!1　（音楽の友出版）						
副教材等	混声合唱ピース「茜色の約束」、「明日への扉」						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

独唱や合唱の歌とクラシックギターを演奏することを中心に、年間を通して学習する。
自信を持って大きな声で歌えるために音程をしっかりととれるよう、基礎部分に時間をかけ学習する。また、音楽を形作っているもの（メロディの流れ、ハーモニー、和声等）と歌詞の関連を考え歌えるように伝えていく。そのために皆さんの馴染みのある曲を取り入れる。
発表での実技テストを実施し、緊張・達成感を味わうことにより発表する能力の基礎を養う。音楽を楽しんでもらいたい。
学習の到達度は実技テストと日々の取り組み状況を見て評価する。

2　学習の到達目標

音楽を形作っているものと表現の関係を演奏を通して学ぶ。音楽を愛好し、音や音楽に感心を持つ。主体的に行動・表現しようとする態度を養う。そして音楽表現をすることに喜びを味わわせる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a: 音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に感心を持ち、歌唱・器楽・鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱・器楽の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するかについて表現意図を持っている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱・器楽の技能を身につけ、創造的に表現している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを味わって聞いている。
評価方法	観察、ワークシート	観察、演奏の聴取	演奏の聴取	観察、ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	大きな声で歌おう	[歌唱] ・翼をください　・ハナミズキ ・少年時代　・島唄 ・やさしさに包まれたなら [合唱] ・青空(ブルーハーツ)	○	○	○		a:歌う喜びを味わい、学習に意欲的に取り組んでいる。又ハーモニーを作ることに積極的で、主体的に取り組んでいる。 b:フレーズや強弱を意識して流れにのって歌えている。 c:大きな声を出している。	観察 演奏の聴取
	ギターの基礎を学ぶ1	[器楽] ・クラシックギターの構え方、押さえ方、左手の広げ方 ・かっこう　・チューリップ ・かえるの合唱	○	○	○		a:ギターに主体的に取り組んでいる。 b:良い音をイメージし、その音に近づけるように考えながら演奏している。 c:構え方や押さえ方をきちんとできて演奏ができている。	観察 演奏の聴取
	みんなで音楽を楽しむ1	[鑑賞] ・映画「天使にラブソングを2」	○			○	a:音楽の楽しさや充実感を感じ、鑑賞の学習に主体的に取り組んでいる。 d:音楽に主体的に取り組むことで充実感を味わえ、自らも取り組めばできることを感じることができる。	観察 ワークシート
2学期	みんなで歌を楽しむ1	[合唱] ・Winding Road (混声3部合唱) ・明日への扉(混声3部合唱) ・茜色の約束(混声3部合唱)	○	○	○		a:声を出すことやハーモニーを作ることに積極的で、主体的に取り組んでいる。 b:旋律・フレーズ・強弱を知覚し、歌詞との関連を考え、どのように歌うか表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	観察 演奏の聴取

	ギターの基礎を学ぶ2	[器楽] ・1～6弦までのメロディー奏 ・簡単な押さえ方でコードを押さえる(C・G) 「カントリーロード」メロディ奏 「チェリー」メロディ奏 「コガネムシ」メロディ奏	○	○	○		a:ギターの練習に主体的に取り組んでいる。 b:フレーズを感じ、メロディを感じながら演奏しようしているか、また演奏できている。 c:正しい指使いや構え方、押え方で力強く、良い音が出ている。また、コードチェンジがスムーズ。	観察 演奏の聴取
3学期	みんなで歌を楽しむ2	[歌唱] ・あとひとつ(混声3部合唱) ・あなたに(混声3部合唱)	○	○	○		a:声を出すことやハーモニーを作ることに積極的で、主体的に取り組んでいる。 b:旋律・フレーズ・強弱を知覚し、歌詞との関連を考え、どのように歌うか表現意図を持っている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身につけている。	観察 演奏の聴取
	ギターの基礎を学ぶ3	[器楽] ・簡単に押さえることができるコードを押さえる(Em、D7) ・弾き歌いをする 「カントリーロード」(抜粋)	○	○	○		a:ギターの練習に主体的に取り組んでいる。 b:フレーズを知覚し、メロディを感じながら演奏しようとしている。また、できている。 c:正しい指使いや構え方・押え方で、力強く良い音か出ている。また、コードチェンジがスムーズ。	観察 演奏の聴取
	文楽に親しむ	[鑑賞] 文楽(人形浄瑠璃)「桂川連理棚」 から〈帯屋の段〉	○			○	a:郷土の伝統音楽に感心を持ち、学習に主体的に取り組もうとしている。 d:語りの表現・三味線の間や緊張感・BGM的な効果・筋立ての身近さやおもしろさを理解し、文楽が身近なものであると感じることができる。	観察 ワークシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　　d:鑑賞の能力

※　原則として「歌唱」「器楽」「創作」の分野はa、b、cの３観点で、「鑑賞」はa、dの２観点で評価する。

※　年間を通じて全ての観点について評価することとなるが、学習内容（題材）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。